

薬物乱用防止教室

1月23日(火),2年生を対象に薬物乱用防止教室を行いました。

外部講師として,東北厚生局麻薬取締部 調査総務課 係長 中村 裕 様,司法警察員 麻薬取締官 勝又 武士 様 をお迎えし,薬物乱用の危険性や実際の事案について御指導いただきました。

様々な違法薬物の存在を知る

違法薬物はその種類によって出現する症状が様々です。日本で最も使用されているのは覚醒剤で,依存性が高く,再犯率が高いそうです。また,最近では大麻の使用が増加しており,お菓子のグミに大麻の成分を混ぜて販売されるなど,一見違法なものだとは気付かないものもあるということを知りました。

違法薬物は一度手を出すと,依存性により辞めたくても辞められなくなったり,脳が萎縮して知能が落ちたりするなど,とても恐ろしいものだとして再確認しました。



身近な危険・海外の薬物事情について知る

中高生が違法薬物に関わる事案も増加しており,違法薬物を使用する側だけでなく,売る側になるケースも出てきているそうです。

現在 SNS 等の利用により,知らず知らずのうちに違法薬物の売買に関わってしまう危険性が高くなっています。生徒たちは,自分たちの身近なところで違法薬物とつながる危険があることに,驚いていました。

また,海外では大麻の使用を違法としていない国もあり,大麻成分を含んだ飲食物が観光地で日常的に販売されているため,注意が必要だということを知りました。



違法薬物の誘いに乗らない・手を出さない

違法薬物を使用するきっかけの多くは「友人・知り合いからの誘い」だそうです。本当は使用したくなくても,その場の雰囲気が悪くなることを恐れ,断りきれずに使用したというケースも多いそうです。

誘われた時にはハッキリと断ること,困ったときには周りの人に頼るようにして,自分自身を大切にする行動を取りましょう。

